

鳥取県生協は被爆・戦争体験と平和の想いを次世代に継承し、核兵器廃絶と世界平和に向けた取り組みを進めています。

戦後の引き揚げについて知っていますか？

1945年8月15日の終戦後、外地で生活していた日本人が帰国してきたことを「引き揚げ」と言います。当時、軍人・軍属および一般人（または在外邦人）あわせて引き揚げ対象者は約660万人いたとされています。1945年9月から横浜・浦賀・呉などの10数港を引揚港に制定し、帰国を進めました。しかし、旧満州・朝鮮・樺太などからの引き揚げはなかなか進みませんでした。1950年以後は舞鶴港が国内唯一の引揚港となり、1958年夏までに、630万人が帰国しました。

満州にいた人々

1931年日本の関東軍は、中国東北部を武力占領して「満州国」を建国し、国策として、満州開拓のための「満蒙開拓団」や「満蒙開拓青少年義勇軍」を送りました。「20ヘクタールの地主になれる」「お国のために働ける」などと言われ、多くの貧しい農家の次男や三男が、土地を求めて海を渡りました。その数は、1932年～1945年の間に約32万人と言われています。鳥取県からは、開拓団1,339人、青少年義勇軍2,287人で、少年義勇軍は府県の人口比で日本一の送出率でした。

満州での開拓は食糧増産とともに、満州国の日本人を増やし、ソ連防衛の拠点として、また新たな開拓地や資源開発のために、移民政策が実施されました。

終戦後、ソ連の侵攻によって旧満州は混乱し、人々は引揚船の出る港まで必死に移動しました。過酷な逃避行の中で、飢えや襲撃、病気により死亡者が続出しました。また、引揚船に乗る事ができず中国に残された「残留婦人」や「残留孤児」が多くいました。青少年義勇軍として満州へ渡り亡くなった友の霊を慰めるために、元隊員たちが1976年に碑を建立しました（東伯郡湯梨浜町藤津）。



引揚船に乗ることができても、日本にたどり着く前に船の中で亡くなってしまいう人も多くいました。



被爆・戦後80年『戦争証言集』の中で、ご本人・ご家族の、引き揚げ・抑留体験を聞き取りました

ぜひ、多くの方に手に取っていただき、真相を知っていただきたいと思います。ご希望の方は、下記を確認してお申込み下さい。※配布は無料です



【お申込み方法】 二次元コード 電話 メール で受け付けています。

- ・二次元コード 右記をお読み取り後、必要事項をご記入ください。
- ・電話 0858-85-0019（月～金 9:00～17:00）
- ・メール kumikatsu@tottori.coop

※組合員氏名、組合員コード、必要冊数をご記入ください。



抑留されていた人々

終戦後、旧満州・朝鮮半島・樺太などにいた多くの軍人や開拓民は、旧ソ連軍によってシベリアやモンゴルなどへ移送・収容され、強制労働を強いられました。その数約60万人と言われています。

「トウキョウ ダモイ（東京に帰れるぞ）」と言われて貨物列車に乗せられ、シベリアの収容所に連れて行かれました。抑留生活は大変厳しいもので、約6万人（抑留者の10人に1人）が命を落としました。

重労働

石炭の採掘、森林伐採、建設業や農業が主な仕事で、ノルマが終わらないと既定の食事がもらえませんでした。

飢え

朝食の例：コウリャンと呼ばれる穀物で作ったおにぎりと具と味のほとんどないスープでした。

極寒

気温は-30～40度で、衣類は乏しく、死者が身に着けていた衣類をはぎ取って着ることもありま

1956年、日本と旧ソ連は国交を回復し、残されていた全ての抑留者の引き揚げが行われました。

くらし助け合いの会

組合員同士がくらしを支え合う 有償ボランティア活動 です！



ちょっとしたくらしの困りごとに手助けをし合う仕組みとして広がってきた「くらし助け合いの会」。お手伝いしてほしい組合員さんをお手伝いしたい組合員さんが援助を行う活動が『くらし助け合いの会』です。

高いところの電球を
変えてほしい



犬の散歩を
してほしい



お墓掃除を
お願いしたい



片付けや掃除を
してほしい



食事の準備を
手伝ってほしい



お手伝いしたい人
～都合の良いときに、得意なことで活動～
活動費 **900円** / 1時間
(時間外+200円、屋外+200円)

お手伝いしてほしい人
～くらしの困り事を支援してもらえ～
利用費 **1000円** / 1時間
(時間外+200円、屋外+200円)

「草取り」のご依頼はお早めに！

まだまだ寒い日が続きますが、春はもうすぐそこです。暖くなるのを「待っていました。」とばかりに、庭の草も元気になってきます。草取り活動もご依頼が増えてくる時期です。ご依頼が集中するとご希望日にお伺いする事が難しくなります。お庭の様子を見ながらご連絡ください。

お問い合わせ先 **090-3172-1432** 『くらし助け合いの会』事務局（月～金 9:00～17:00）

くらし助け合い募金

組合員全員参加の **応援募金** です。組合員どうしが共に学び合い、自主的なくらしの相互援助活動が充実するようご協力をお願いしています。

注文番号	募金金額（一口）
1520	100円

注文書の4～6ケタ注文欄に、注文番号と口数をご記入ください

折り鶴糸通し作業をしてみませんか？



8月の「ピースアクションinヒロシマ」で捧げる千羽鶴の作成に向けて、組合員さんから寄せられた鶴に糸を通していただける方を募集します！

お届けするもの

- ・千羽鶴づくりセット（100羽の折り鶴、糸、ビーズ）
※1束50羽で2本作成していただきます。
- ・感想用紙
- お申込みいただくと3週間以内にセットをお届けします●

注文番号	1セット
17833	100羽



平和募金

平和募金は、平和について学び、考え、広げて、次の世代へ語り伝えていく活動を行うために活用させていただきます。

募金番号	募金金額（一口）
1523	100円

ユニセフ募金

世界各地のユニセフ活動に利用される『一般募金』と、国や地域を指定して活用される『指定募金』に分けて送金しています。

募金番号	募金金額（一口）
1522	100円